

第3章

平成23年度事業実績

1 保健総務課

保健総務課は企画調整庶務担当及び動物衛生担当で組織され、企画調整庶務担当は保健所の公有財産管理、人事、文書、予算、会計、情報公開及び健康づくりに関する思想の普及・啓発等を行った。動物衛生担当は狂犬病予防及び動物の愛護・管理に係る事業を実施した。

(1) 広報活動・健康教育

① 広報活動

ア 広報媒体の活用

市広報、タウン誌等を通じて事業の周知を図るほか、所内外に垂れ幕及び看板等を掲示するなどの広報活動を行った。

広報媒体の活用状況(表(1-1))

種 別	件 数	内 容
広報「はちおうじ」 (特集号記事含む)	18件	保健総務課12件、生活衛生課 6件
タウン誌	9件	保健総務課 6件、生活衛生課 3件
垂れ幕及び看板の掲示	7件	保健総務課 3件、生活衛生課 2件 保健対策課 2件
シティビジョン	2件	保健総務課 2件

イ ホームページによる情報提供

保健所の事業案内、保健衛生情報、イベント情報等をタイムリーに提供するため、ホームページによる情報提供に取り組んだ。

・ホームページアドレス

(PC版) http://www.city.hachioji.tokyo.jp/hoken_iryoo/hachi_hokenjyo/index.html

(モバイル版) <http://mobile.city.hachioji.tokyo.jp/>

・Eメールアドレス

(保健総務課) b073100@city.hachioji.tokyo.jp

(生活衛生課) b073200@city.hachioji.tokyo.jp

(保健対策課) b073300@city.hachioji.tokyo.jp

② 健康教育

地域住民が保健衛生に関する理解と関心を高め、心身共に健康で楽しく日常生活を快適に過ごすために、業務を通じて健康教育を展開した。

保健指導や監視指導のほか、地域の実情をとらえ有効な視聴覚教材などを利用して、関係機関と連携しながら講習会などを行った。

健康教育実施状況（表(1)－2）

区 分	総 数		会 場			
	回数	参加人員 (延)	所 内		所 外	
			回数	参加人員 (延)	回数	参加人員 (延)
22 年 度 総 数	122件	7,886名	47件	1,581名	75件	6,305名
23 年 度 総 数	149件	9,202名	73件	1,554名	76件	7,648名
感 染 症	47	2,908	29	361	18	2,547
(再掲) エイズ	(31)	(1,345)	(25)	(190)	(6)	(1,155)
精 神	8	968	2	59	6	909
難 病	1	30	—	—	1	30
ア レ ル ギ ー	1	43	1	43	—	—
成 人 ・ 老 人	—	—	—	—	—	—
栄 養 ・ 健 康 教 育	8	518	—	—	8	518
歯 科	11	428	7	304	4	124
医 事 ・ 薬 事	3	225	—	—	3	225
食 品	58	3,228	29	642	29	2,586
環 境	11	754	5	145	6	609
そ の 他	1	100	—	—	1	100

③ DVD 等の活用

当所所有のDVD等は、講習会等で利用するとともに学校や老人福祉施設等への貸出も行うことで、衛生思想の普及を図った。

DVD等の地域への貸出状況（表(1)－3）

区 分	食 品 衛 生	環 境 衛 生	栄 養	歯 科	運 動	健 康 づ くり	薬 乱 防 止	喫 煙 防 止	ア ル コ ー ル	救 急	思 春 期	エ イ ズ	感 染 症	S T D	精 神 保 健	合 計
数	22	1	1	—	3	6	14	8	1	—	—	1	—	—	5	62

(2) 研修・教育・派遣

① 実習生等指導

公衆衛生関係の人材の確保と保健医療福祉関係者の公衆衛生についての関心を深めるため、保健師学生等に対して下表のような指導内容を実施した。また、保健所事業以外の業務についても保健福祉センター等の見学を依頼し、対人保健サービスに関する理解を深めた。

平成23年度実習生等指導状況（表(2)－1）

対象	学校名	実施期間	指導人員	指導内容等
保健師学生	杏林大学保健学部 看護学科	5月23日～7月1日	16名 (延べ 80名)	講義：地域保健活動の実際 見学：家庭訪問、デイケア、結核検診等
管理栄養士学生	実践女子大学生生活 科学部食生活科学 科管理栄養士専攻	5月9日～9月22日	12名 (延べ 72名)	講義：保健所各課及び保健栄養業務 について 見学：実習：特定給食施設指導等

② 被災地派遣

被災地における保健医療福祉システムの再構築支援のため、東京都における公衆衛生チーム、保健師等派遣チームとして医師・保健師職員の派遣を行った。

東日本大震災における被災地支援（表(2)－2）

職員	期間	派遣地	派遣内容
保健師	4月26日～5月1日	福島県いわき市	避難者の健康相談等
医師	6月14日～6月21日	宮城県石巻市	保健所・保健センター等の公衆衛生活動の支援
医師	6月25日～7月2日	宮城県石巻市	保健所・保健センター等の公衆衛生活動の支援
医師	9月25日～9月30日	宮城県石巻市	保健所・保健センター等の公衆衛生活動の支援

(3) 付属機関

① 各種会議

(表(3)-1)

会議名	開催日	対象	出席者数	開催場所	主な議事内容
保健所協議会	7月13日	保健所協議会委員 28名	24名	八王子市保健所	・平成22年度事業実績について ・平成23年度主な事業実績状況について
食品衛生推進会議	7月15日	食品衛生推進委員 15名	13名	八王子市保健所	・食品衛生に係る最近の動向 ・地域の食品衛生の向上等に関する 提言及び情報交換
	2月17日		10名		
感染症の診査に関する協議会	年47回	感染症の診査に関する協議会委員 15名	各回5名	八王子市保健所	・申請に基づき結核医療等の適否について診査
大気汚染障害者認定審査会	年12回	大気汚染障害者認定審査会委員 6名	各回6名	八王子市保健所	・申請に基づき医療費助成の適否を 審査
地域精神保健福祉連絡協議会	7月25日	地域精神保健福祉連絡協議会委員 19名	17名	八王子市保健所	・22年度精神保健福祉事業報告 ・23年度事業計画について ・八王子市・自殺総合対策について
食のネットワーク会議	12月15日	食に関する民間団体、行政関係部・課	24名	八王子市保健所	・東日本大震災を経験して課題・対策について ・震災の影響について ・各団体、行政の情報交換

(4) 統計・調査

保健衛生行政を推進するための企画と実施上の指針として、また、行政効果を把握するための基礎資料として次の統計及び調査を実施し市内の状況を把握するとともに、東京都を經由して厚生労働省に送付した。

① 人口動態統計

出生・死亡・死産・婚姻・離婚の届出をもとに「人口動態調査オンライン報告システム」により調査票データを審査集計し、人口動態を把握するとともに地域保健指標として役立てた。

② 衛生統計調査

国民保健の実態を知り、社会保障や厚生労働行政の基礎資料とするため、統計法に基づき各種調査を実施した。平成23年度における市内の実施状況は次のとおりである。

各種統計調査実施状況（表（4）－ 1）

調 査 名	目 的	期 日	対 象
国民生活基礎調査	国民の保健・医療・福祉・年金等、国民生活の基礎的事項を調査して、厚生労働行政の企画及び立案の基礎資料とするとともに各種調査の調査客体を抽出するための親標本を設定する。	6月2日	5 地区 286世帯
医療施設静態調査	医療施設の分布及び整備の実態を明らかにするとともに、医療施設の診療機能を把握し、医療行政の基礎資料を得ることを目的とする。	10月1日	病院 41 一般診療所 379 歯科診療所 287
患者調査	病院及び診療所を利用する患者について、傷病の状況等の実態を明らかにし、医療行政の基礎資料を得ることを目的とする。	10月18日～21日の間の指定日 退院患者については、9月1日～30日の1か月間	病院 18 一般診療所 6 歯科診療所 1
受療行動調査	医療施設を利用する患者について、受療の状況や受けた医療に対する満足度等を調査することにより、患者の医療に対する認識や行動を明らかにし、今後の医療行政の基礎資料を得ることを目的とする。	10月18日～20日の間の指定日	病院 2

③ その他の統計・調査

ア 食中毒統計

食品衛生対策のための基礎資料として、食品衛生法による食中毒の発生状況を把握した。

イ 地域保健・健康増進事業報告

国及び地方公共団体の地域保健施策の効率的・効果的な増進のための基礎資料として、市の地域保健事業及び健康増進事業の実施状況を都を經由して厚生労働省へ報告した。

ウ 歯科疾患実態調査

歯科保健状況を把握し、今後の歯科保健医療対策の推進に必要な基礎資料を得ることを目的とする。

（5）情報公開

保健総務課企画調整庶務担当内に情報公開事務担当を置き、住民や関係機関からの公文書公開請求の処理を行った。また各担当においては、各行政照会等に対応した。平成23年度の実施状況は下表のとおりである。

(表(5)-1)

区分	件数	食品衛生	医事薬事	環境衛生	その他
公文書公開	173	121	120	132	2
行政照会	133	100	12	21	—

* 公文書公開の各区分に計上した数は延数のため、これらの計は件数と一致しない。

(6) 健康づくり

すべての市民が健康でいきいきと暮らしていけるよう、市民・各種団体と行政が協働で「はちおうじ健康づくり推進協議会」を運営し、様々なイベントを通して健康増進に関する正しい知識や情報の普及を図るなど、市民に健康的な生活様式や健康づくりを支援するまちづくりを推進した。

① 健康づくり事業

ア 第8回市民健康の日「2011健康フェスタ」(平成23年5月15日開催)

毎年5月の第3日曜日を「市民健康の日」と定め、メイン会場では健康づくりを楽しみながら体験できるイベント「2011健康フェスタ」を開催した。

なお、平成23年度は東日本大震災の影響を鑑み会場を縮小して開催

(表(6)-1)

年度	参加団体	参加者数
22	38団体	7,153名
23	32団体	4,453名

イ 八王子いちよう祭りへの参加(平成23年11月19・20日開催)

健康づくりに関する情報発信や市民健康の日のPRを行った。

(表(6)-2)

年度	参加団体	参加者数
22	10団体	5,246名
23	11団体	2,798名

ウ 健康づくり活動発表会の開催(平成24年2月26日開催)

「地域の中で健康に役立つ」ことを目標に活動している団体やグループの活動発表を通じて、地域の健康づくりの活性化を考える動機づけを行った。

今年度は「【素敵に運動】～いつまでも元気で若々しく健康を維持するには?～」をテーマとした。

(表(6)-3)

年度	参加団体	参加者数
22	10団体	89名
23	10団体	129名

② 健康手帳の交付

市内在住の40歳以上の方を対象に、健康づくりの一環として、健康結果などを記載し健康管理に役立ててもらえるよう健康手帳の交付を実施。

(表(6)-4)

年度	交付数
22	1,578
23	1,450

(7) 動物衛生

狂犬病予防のために、犬の登録及び狂犬病予防注射の実施に関する事業を実施した。

また、「人と動物との調和のとれた共生社会の実現に向けて」動物飼養にかかわる指導、相談、苦情対応及び犬・猫等の引取り、保護収容を実施した。

飼い主のいない猫に関する問題に対応するため、平成23年度から「飼い主のいない猫（野良猫）の不妊去勢手術助成金制度」開始した。

犬の登録と狂犬病予防注射 (表(7)-1)

年度	鑑札交付数	年度末登録頭数	注射済票交付数
22	2,626	28,666	24,008
23	2,450	29,064	23,946

*鑑札交付数には再交付及び交換を含み、注射済票交付数には再交付を含む。

犬の捕獲・収容及び犬・猫の引取り等 (表(7)-2)

年度	犬の捕獲 収容頭数		引取り頭数								負傷動物収容頭数				
			飼い主から				拾得者から				犬		猫		その他
	犬		猫		犬		猫		成犬	子犬	成猫	子猫			
	成犬	子犬	成猫	子猫	成犬	子犬	成猫	子猫							
22	20	2	31	—	30	63	77	—	—	241	10	—	24	9	1
23	12	—	28	—	61	49	68	1	—	183	4	—	36	11	—

犬・猫の返還、譲渡、殺処分 (表(7)-3)

年度	返還頭数					譲渡頭数					殺処分頭数				
	犬		猫		その他	犬		猫		その他	犬		猫		その他
	成犬	子犬	成猫	子猫		成犬	子犬	成猫	子猫		成犬	子犬	成猫	子猫	
22	78	—	—	—	—	37	2	9	123	1	21	—	44	190	—
23	55	1	3	—	—	26	—	4	48	—	32	—	92	195	—

動物による事故及び苦情件数（表(7)－4）

年度	動物による事故				苦情相談等処理件数																
	犬		その他		犬									猫						その他	
	犬数	被害者数	動物数	被害者数	総数	内訳								総数	内訳						
						放浪	拾得	負傷	放し飼い	汚物・汚水	悪臭	鳴き声	その他		拾得	負傷	汚物・汚水	悪臭	鳴き声		その他
22	26	26	—	—	338	41	97	12	56	35	10	63	24	230	106	36	49	8	2	29	14
23	29	29	2	2	290	33	105	8	30	34	4	52	24	250	91	56	37	6	3	57	14

平成 22 年度から都への報告様式改正に伴い計上項目を追加

普及啓発事業実施回数（表(7)－5）

年度	適正飼養講習会	動物教室	地域猫講演会	七国公園ドックラン利用登録申込者説明会
22	1	2	2	—
23	1	—	2	14